

令和5年度事業計画

1. 基本方針

我が国の総人口は、総務省統計局による令和5年2月1日現在の概算値では1億2,463万人と、前年（1億2,520万人）に比べ57万人減少しています。

また、65歳以上の高齢者人口は3,623万人と、前年（3,624万人）に比べ1万人減少している一方で、総人口に占める割合は29.1%と前年（28.9%）に比べ0.2%上昇しています。75歳以上人口については1,964万人と、前年（1,889万人）に比べ75万人増加し、総人口に占める割合は15.8%と前年（15.1%）に比べ0.7%上昇しています。

北広島市においても令和5年2月末現在、65歳以上の高齢者人口は1万9,300人で市の人口に占める割合は約33.7%と高齢化が進んでいます。

このように人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、人生100年時代を見据え、高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりとして重要な役割を担っており、シルバー事業は、そうした期待に対して、組織の拡大や事業のより一層の活性を図り、ニーズに応じていく必要があります。

そのためには、「会員の拡大」と「多様化する就業ニーズ」への対応が重要であり、会員の拡大については、当センターはもとより北海道シルバー人材センター連合会や全国シルバー人材センター事業協会といったシルバー組織全体での最重要課題となっています。

当センターとしては、令和5年度においても、会員の拡大、企業退職（予定）者層への働きかけの強化、退会抑制、多様な就業機会の開拓などについて、会員・役職員が一体となって積極的な事業の推進に努めてまいります。

特に、高齢者人口の男女割合や就業率の拡大からみて余地の大きい女性会員の拡大については、重点事項として女性会員の入会促進と更なる活躍に繋がるよう女性委員会（ほほえ〜む）の活動を通じた積極的な取組を図ってまいります。

また、地域の日常生活に密着した事業を進め、会員の高年齢化や事故発生状況を踏まえて安全就業と適正就業を推進するとともに、引き続き新型コロナウイルスの感染防止や健康確保などについて適切な対応を図ってまいります。

当センターでは、昨年度、新型コロナウイルスの影響も徐々に落ち着いてきた状況から、一日奉仕デーや市立保育園への花苗寄贈など地域社会への貢献、また、例年実施している各種講習会やイベントなどの他、交通安全教室や秋野菜収穫体験といった新たな取組も実施することができました。

令和 5 年度の事業運営にあたっては、「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」に基づく様々な普及啓発促進活動によりシルバー事業を周知し、また「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加による生きがいの充実を図ることを目標として、積極的にシルバー事業を展開してまいります。

また、新型コロナウイルスや物価高騰などによる影響や本年 10 月から施行される消費税における「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」への対応を図りつつ、シルバー事業を円滑に推進してまいります。

2. 事業計画

「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」の基本目標を踏まえ、目標会員数を引き続き、令和元年度の会員数以上とし、新型コロナウイルスや物価高騰の動向に留意しつつ、具体的取組事項との整合を図りながら以下の事業を展開します。

(1) 事業の普及啓発と就業機会の拡大

- ① シルバー事業をより多くの市民などに理解してもらうため、市広報紙の活用、マスメディアへの情報提供、センターホームページによる情報発信など積極的な広報活動を展開します。
- ② 会報「ふれあい」を毎月、「ふれあい特集号」を 7 月と 1 月に定期発行し、シルバー事業の活動事例、安全就業、就業情報、講習会など会員への情報提供に努めます。
- ③ 市民との交流を深めるため、エルフィンパーク交流広場において、木工展示即売会・包丁研ぎを開催します。また、市内で開催される各種行事に参加し、リーフレットやチラシなどを活用してセンターの普及啓発に努めます。
- ④ 地域社会への貢献として、一日奉仕デーや市立保育園への花苗寄贈を実施するとともに、学校や高齢者施設などを支援する会員の地域ボランティア活動への積極的な参加を奨励します。
- ⑤ シルバー活動センター及び大曲ふれあいプラザの指定管理者として、利用者が安全かつ快適に利用でき、親しみやすい施設運営ができるよう就業会員に対して施設管理・

接遇指導を行うとともに、各種講習会やイベント、企業PRブースの設置などの自主事業を実施します。

- ⑥ 「普及啓発促進月間」には、シルバーパネル展やリーフレットの配布、街頭啓発及び市役所市民ギャラリーでの展示会など多様な広報宣伝活動に努めます。
- ⑦ 就業機会の開拓や会員の拡大に向け、役職員による企業などへの訪問活動を実施します。
- ⑧ 発注者のニーズの把握と就業の拡大に努めます。
- ⑨ シルバー活動センターにおいて木工品や手芸作品、野菜などシルバー製品のPR並びに販売促進を図ります。

(2) 安全就業の推進と健康の確保

- ① 就業にあたっては、安全が最優先です。令和5年度安全就業対策基本計画を策定し、安全管理体制の充実、事故防止対策の徹底、安全意識の啓発などを図ります。
- ② 事故を未然に防止し、安全就業を確保するため、「安全就業指導基準」、「作業別安全就業基準」、「安全の心得」の周知・遵守を徹底し、事故ゼロを目指します。
- ③ 安全就業に対する意識を高めるため、職群班会議で事故に関する情報を共有するとともに、安全大会や安全講習会の開催、安全標語の募集などを実施します。
- ④ 安全就業についての啓発を図るため、無災害記録記載看板の掲示、「作業別安全就業基準」の周知など安全就業に関する意識啓発を行います。
- ⑤ 安全委員会による就業現場のパトロールを定期的を実施し、就業現場の点検確認と作業の安全について指導します。
- ⑥ 発生した事故については、事故原因を検証するとともに、事故に関する概要を会報や地区懇談会などで説明し、会員への周知を図り、安全意識の徹底と再発防止に努めます。
- ⑦ 厚生労働省の「高齢労働者のための安全と健康確保のためのガイドライン（エイジフレンドリーガイドライン）」などを活用し、安全意識の徹底とその高揚を図ります。
- ⑧ 会員が安心して就業できるよう新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を図ります。また、日常的な健康管理、体力づくりなどを図るとともに、健康状態の把握のため定期的な健康診断の受診の奨励に努めます。

(3) 適正就業の推進

「適正就業ガイドライン」の周知徹底を図り、適正な就業の確立に努めます。

(4) 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る雇用による就業を希望する高齢者に対して、適正かつ適切な職業紹介を行います。

(5) 一般労働者派遣事業の実施

多様な就業機会を確保するため、一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の受託が可能な職種の分析と就業開拓に取り組み、北海道シルバー人材センター連合会北広島市事務所として、派遣就業の拡大と適正就業の推進に努めます。また、派遣労働者の同一労働・同一賃金のルールに基づき、正規雇用労働者と非正規雇用労働者との間の不合理な待遇格差を解消した就業環境の整備に努めます。

(6) 会員の拡大と知識・技能の向上

- ① 「北広島市シルバー人材センター会員拡大計画」の具体的取組事項にある令和5年度の重点・継続の各個別事項についての取組を実施し、会員の拡大に努めます。
- ② 会員が新たな知識・技術・技能を身につけることは、就業機会の拡大につながることから各種講習会などを開催し、会員のスキルアップを図ります。
- ③ 草刈や草取り、剪定などの業務は後継者不足が懸念されることから、後継者の育成を図ります。
- ④ 市民を対象とした就業体験講習会を開催し、センターのPRに努め、シルバー事業への理解と新規会員の加入促進を図ります。
- ⑤ 会員としての心得や入会後の状況、要望などの把握、仲間づくりの促進を図ります。
- ⑥ 家事援助サービスの提供による女性会員の拡大及び空き家管理対策事業への参入検討による就業拡大を図ります。
- ⑦ 退会会員の抑制に向けて、未就業会員などに対する相談を通年により実施し、就業機会の提供に努めます。また、ゴールド会員への登録を希望する会員には移行を促します。
- ⑧ 女性会員の就業機会の拡大と新規女性会員の入会促進、会員相互の情報交換などの推進を図るため、女性委員会「ほほえ〜む」活動の活発化に努めます。
- ⑨ 「シルバー会員のデジタル利用促進事業」を活用して、スマホ講習会の開催や人材育

成などにより会員のデジタル利用を促進します。

(7) 組織の強化と事務局体制

- ① 地域班は、センターの事業運営の円滑化や会員相互の親睦を図るための基本的な組織であり、センターの自主的・主体的運営を進めるために地区・地域班活動及び班長・役員活動を支援し、地域活動の活性化に努めます。
- ② 地域班長連絡会議や職群班との打合せを適切に行うとともに、地区懇談会を開催し、会員と役員との情報共有や意見交換に努め、事業運営に反映させていきます。
- ③ 理事会や専門部会、各種委員会においてセンターの組織・事業活動のあり方について検討するとともに、他センターの活動を調査・研修するなど自主的活動を推進し活性化に努めます。
- ④ センター事業の適正な運営と組織の最適化を図るため、事務局体制を見直します。また、職員研修などに参加し見識を広め、職員のキャリアアップに努めます。
- ⑤ 効率的な事業運営をするため、システム環境のデジタル化を推進するとともに、会員のデジタルリテラシー(※)の向上に努めます。

※デジタルリテラシーとは、スマートフォンやソフトウェアといったデジタル技術を理解して適切に利用・活用できる能力のこと。

(8) 会員の福利厚生

北広島市シルバー人材センター親睦会との連携を図り、会員交流事業などを実施し、会員相互の親睦と情報交換、福利厚生に努めます。

(9) 独自事業の推進

- ① 会員の職業経験や創意・工夫による事業活動を基本として、就業機会の拡大と独自事業の活性化を図るため、花苗づくり、腐葉土づくり、木工品づくりの3事業を推進していきます。なお、事業の効率化などに努めるとともに事業の安定を目指し、シルバー活動センターや各種イベントを通じてシルバー製品のPR並びに販売促進を図ります。
- ② ブルーベリーの試験栽培や野菜作りを継続するほか、会員の提案や他センターの事例などを参考に持続可能な事業を研究します。

(10) 地域就業機会創出・拡大事業

北海道ボールパークFビレッジの開業に伴う関連業務（草刈、落葉集め、駐車場清掃

業務など)について管理会社との協議を行い、受注に努めます。また、北広島市及び関係団体などと連携して、地域社会の発展などにつながる新たな就業機会を創出する事業について検討を行います。

(11) 財政基盤強化

- ① 財政基盤の安定を図るため、国及び市からの補助金の確保に努めます。
- ② 公共団体や企業、家庭からの受注拡大を目指したきめ細かな就業の拡大に努めるほか、賛助会員の勧誘や就業との連動に努め、就業開拓を行います。
- ③ 本年10月からのインボイス制度の施行に向けて、事務費の見直しなどにより安定的な財政運営を図り、本年10月から令和8年9月までの経過措置期間中の適切な対応を行います。
- ④ 限られた財源を有効に活用できるよう事業投資を見極め、経費の節減や事務運営の効率化を図り、財政基盤の強化に努めます。

(12) 関係機関・団体との連携強化

北海道シルバー人材センター連合会及び他シルバー人材センター、北広島市などの関係機関や団体との連携強化を図り、事業の円滑な推進に努めます。

3. 事業目標

令和5年度の主な事業目標は、次のとおりとします。

(1) 会 員 数 540人以上 (会員拡大計画の修正後の目標会員数)

(2) 受注契約金額 226,000千円 (派遣事業を含む)

※前年度 224,000 千円

以 上